

公益財団法人 名古屋産業振興公社 研究推進部 の紹介

研究推進部は名古屋市守山区志段味地区のなごやサイエンスパーク（SP）に事務所を構えています。昭和62年に産・学・行政が連携して名古屋地域の産業振興と新たな産業の創造育成をめざす、SP構想が提言されました。構想を具体化するため、当公社の前身となる（財）名古屋都市産業振興公社が設立して間もない平成8年に研究推進部が発足しました。今まで、大学・研究所等の研究機関やベンチャー企業のSP誘致に努めてまいりました。現在、日本屈指の研究所である産業技術総合研究所、理化学研究所が誘致され、ものづくり産業を支える研究開発拠点となっております。さらに、平成20年には国の文部科学省のプロジェクトを受け、プラズマ技術産業応用センターがオープンしました。

研究推進部では、SPに拠点を置く研究所、企業と市工業研究所や名古屋地域の大学との橋渡しをすることにより、技術的課題の解決や共同研究、新事業・新商品開発につながる支援をしています。また、これらの活動を通じ、新産業のシーズを発掘し、講演会の開催や研究会活動を推進しています。現在、研究推進部が主導している研究会として次のものがあります。

CAEを活用した
ものづくり研究会

人工関節研究会

テラヘルツ波
産業応用研究会

IMS資源循環型
ものづくり研究会

N-cube

ヒューマン
インターフェイス研究会

（詳細は公社のホームページ（<http://www.nipc.city.nagoya.jp/>）をご覧ください。）

研究推進部はサイエンス交流プラザ（写真1）に事務所を置いていますが、そこには創業間もない起業家やベンチャー企業向けの公的賃貸施設であるインキュベータールーム（写真2）を設置しています。その他、研究開発支援施設として研究開発センターの管理を行っています。

研究会あるいはインキュベータールームから巣立つ事業のため、国の提案公募型事業、特に、戦略的基盤技術高度化支援（サポイン）事業の事業管理機関として支援をしています。

毎年8月の初めには（今年は8月4日（土））、市民の科学・技術に関する理解と関心を深める啓発活動として、SPの研究所や研究開発支援施設の一般公開および研究内容・研究成果の紹介、科学技術に関するイベント等を行う、なごや・サイエンス・ひろば（写真3）を開催しています。

（文責：研究推進部長 小島雅彦）



▲ 写真1 サイエンス交流プラザ
研究推進部の事務所があり、インキュベーター
ルーム、会議室、レストランが併設されています。



▲ 写真2
インキュベータールーム



▲ 写真3 H23 なごや・サイエンス・ひろば
理化学研究所と地元企業とが共同で開発した介
護ロボットRIBA

（公財）名古屋産業振興公社 研究推進部 TEL：052-736-5680